

オリムピック事務局長

久保田敬一博士

土木技術家の久保田敬一博士が先年鐵道次官を辭してから、其後の途を何う云ふ方面に向けられるかと云ふ事に多大の關心を持つてゐたのは我々雑誌人のみではなかつたらう。

俄然、全く俄然としてだ、東京オリムピック大會の事務局長に久保田博士が就任したのだ。或一部の人々は最初は同名異人かとも思つたらう、全くだ、土木技術家が世界の尖端事業たる國際オリムピックの最高事務をキャッチしやうとするのであるから驚いたのは當然である。

然し眞に久保田博士を知るものは決して之を奇道とは認めなかつたらう。一高時代から久保田氏が野球の選手として知られてゐた事は有名である。東京帝大土木科を卒業すると自費で洋行して先進國の實際を視察し、鐵道省に入つては特に建設工事に新しき技術的工法と進歩とを與へる事に努め、而して局長としても次官となつても常に舊來の陋習を破る事に努めた。それが爲に隨分誤解されたり反感もつけた。然し信ずる處には毅然として進み得る久保田博士であつた。

その久保田博士は一方にはまた常にスポーツに關心をもち、日本氷上競技聯盟の會長としても斯界に盡力してゐた。随つてスポーツ關係の名士の一人として相當認められてゐた事に不思議はない。而して今度の東京オリムピックの如きは世界各國から注視的となつてゐる大組織的事業であるから、其事務局長たる事は中々の大務である。此文化的大任を自ら引受けた久保田博士の信念の一端として5月9日の鐵道協會總會に於ける講演を聞く事が出来る。久保田博士はギリシヤの4年毎の神祭たるオリムピヤードの沿革から説き起して大體次の様に述べられた。

近代のオリムピック競技は1892年フランス

の歴史家
クーベル
ダン氏の
再興運動
により、
1896年復
興第1回
の國際オ
リムピッ



久保田敬一博士

ク競技が催され、第9回のアムステルダムのオリムピック競技には始めて日本の人見嬢が一人の優勝者として我國旗を掲げたのであつた。第10回はロサンゼルス、第11回は今年のベルリン、第12回が1940年の東京オリムピックである。第9回のオリムピック競技には世界の46ヶ國から3千9百人の選手が参加し、今年のベルリン大會には世界の57ヶ國から4千人の選手が参加した。今度の東京大會への豫想は恐らく世界の各國から5千人以上の選手が参加するであらう。

東京オリムピックの費用は約1千5百萬圓位の豫定であるが、内480萬圓は政府から補助される事になつてゐる。

ベルリン大會では外國人が30萬人も入場しドイツ内地人は100萬人位であつた。東京大會に於ても1時間に15萬人位の人を運ばねばならぬと豫想されるから運輸上の問題も充分研究中である。

オリムピック競技は國際的なものであるから、各國の國名を用ひず、ベルリンとか、東京大會とか云ふ様に世界を一國と見てゐる處に特色がある。

東京に於て開催する事は世界各國人に對し眞の日本を認識せしめ、一方には日本人をして益々世界的ならしめるに良き機會である。云々と。